



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2009年2月22日 No.652

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>



区営住宅は建設しない!?

長期計画は福祉を変質・後退…

写真は目黒川周辺のビル群。大崎・大井町・東品川など再開発にすでに1000億円超の税金を使った。それなのに区営住宅の供給はやめるとは…!?



長期計画の開発計画

- 「都市活性化拠点」として
五反田、大崎、大井町、天王洲の開発促進
- 「地域生活拠点」として
武蔵小山駅周辺、西五反田三丁目、品川シーサイド駅周辺、目黒駅周辺の開発促進
- 幹線道路として
都市計画道路補助29号線・31号線の促進

長期計画では福祉は変質・後退だが、大規模開発の方針は明確だ。



納得は出来ない

品川区の09年度予算案。濱野区長は「第4次長期基本計画を實行」と強調しています。しかし、長期計画は巨大ビルづくりを推進、新年度も72億円を投入する一方、区営住宅は供給しないなど住宅や福祉を変質・後退させるものです(ウラ面へ)。

品川区は昨年、基本構想・長期計画策定にあたってアンケートを実施しました。結果は、区に望む重点施策のうち区民要望のトップが高齢者福祉で28・8%、次いで防災対策28・0%。さらに、保健・医療・健康25・7%、環境問題23・3%、子育て支援17・3%、学校教育11・3%、低所得者福祉10・5%、住宅8・4%など福祉や教育、環境、住宅が高い結果でした。ところが、長期計画はこうした要望には応えず、「国際都市品川」をつくると区内各所での大規模開発をメインにしています(上表参照)。アンケートでは再開発は6・3%、「国際化」も2・1%しかないのに再開発を優先する姿勢が問われます。

許せません！ 福祉の変質・後退

区営住宅つくり、再開発の高級マンション建設は税金で応援



昨年12月の都営住宅募集の地元割当はわずか1戸。区営住宅、高齢者住宅に入居できた方も年々減少しており、増設は緊急課題です。

ところが、長期計画は、区内に民間住宅の空き部屋が3万戸あるから公営住宅は建設しないというのです。低所得者の住宅を建設しないのは自治体の役割放棄です。部屋が余っているなら、なぜ再開発の高級マンション建設は税金をつかって支援するのか。長期計画は「住み続けられる品川」をスローガンにしていますが、低所得者は品川にいないというのでしょうか。

特養ホームの建設目標なし ケアホームは13ヶ所も建設…

特養老人ホームは現在500人も入所を待っています。しかし、区は利用料が月20万円～25万円もするケアホームは13ヶ所に建設する方針なのに、長期計画には特養ホームをいつまでにいくつ建設するのか具体的な計画がありません。



それどころか、特養ホームを「介護のセーフティネット」にする考えです。つまり、低所得の身寄りのないような方に限定するというもの。これでは年金暮らしの多くの高齢者は特養ホームの対象から外され、かといってケアホームにも入れず、行き場を失いかねません。特養ホームを所得にかかわらず誰でも入れる施設のままで増設することが必要です。

認可保育園は増設なし 問題多発の認証保育園だのみ

ここ数年300人ほどの子どもが保育園に申し込んでも入れない状態です。認可保育園の増設の願いは切実です。ところが、長期計画は保育園の増を幼稚園への保育併設や認証保育園の誘致が柱です。区が自ら保育園を建設する考えはありません。



しかし、認証保育園は保育料が月8万円ほどと高い。しかも、株式会社の認証保育園が保育士が基準を満たしていないのに架空申請したり、補助金を目的外に流用、突然廃園したなど問題が多発しました。安心して子どもを預けられるのでしょうか。

2月25日 みやざきが代表質問を行います



2月25日(水)より第1回定例議会が始まります。私(みやざき)の代表質問は25日の午後です。

質問内容は、①緊急対策の充実を、②「国際都市」の大企業・ゼネコン開発は見直しを、③福祉充実へ長期計

画は作り直しを、④介護保険料値下げと特養老人ホーム増設を、⑤障害者自立支援法の廃止と区独自策の充実を一です。この質問は品川区民チャンネルで2回放送されます。

- ① 3月3日(火) Pm 6時から
- ② 3月7日(土) Pm 3時からです。

弁護士
が対応

無料

法律相談

2月27日(金) Pm 6:30
みやざき克俊事務所

